

令和6年度 第1回学校運営協議会 議事録

日時：令和6年5月10日(金)

10:00~11:30

場所：会議室

○出席者

A 委員(地域代表) B 委員(医療・福祉関係者) C 委員(福祉関係者)

D 委員(医療関係者) E 委員(学識関係者) F 委員(教育関係者) G 委員(PTA 代表)

○学校見学 10:00~10:30

○会議 10:30~11:30

- 1 開会
- 2 委員及び教職員紹介(自己紹介)
- 3 校長挨拶

今年度は全校児童生徒31名でスタートした。昨年度に比べれば若干増えているが最も多かった時に比べれば大きく減少している。児童生徒は新年度から学習や生活に頑張ってきたが、ここにきて頑張りすぎた反動が出はじめている。本日は委員の皆様へ学校のビジョンや課題について十分に協議していただき、その結果を今年度の学校運営に生かしていきたい。本日はどうぞよろしくお願ひしたい。

4 会長・副会長選出

会長にはA委員、副会長にはB委員を事務局より提案し、承認。

この後の議事については会長に承認されたA委員が進行。

5 学校経営計画について

6 教職員働き方改革アクションプランについて

5及び6について校長より提案。

これについてB委員、G委員より質問

B委員：重点目標3-(1)アの達成目標が70%に設定されているのはなぜか。

校長：児童生徒の評価が学校の評価と言うよりは自己評価になっているため。中高生は評価

を低くつける場合が多い。質問の方法の再検討が必要であると考えているが、昨年度と目標の数値は変えずに手立てを変えることで改善を図りたい。

G 委員：目指す学校像の今年度の重点目標に関連して質問したい。ここにある重点目標に対する達成指標にはそれぞれプラス評価等の割合が記されている。この数字が上回った場合、目標が達成されたことになると思うが、昨年度から数値の変更はあるのか。

校 長：前年度達成されたものについては目標数値を上げている。また、評価の対象も明確化している。

G 委員：もし、目標の数値を下回った場合はどうするのか。

校 長：次年度数値は変えずに、目標を上回れるような手立てを考えていきたい。

G 委員：働き方改革について。残業時間が増えないよう、朝早くに出勤時間を設定するような対策をとるのか。

校 長：勤務時間は全てタイムカードで把握しており、早く出勤しても決められた時間より早く出勤すれば、それは朝でも超過勤務になってしまう。昨年度は超勤は平均 20 時間を下回っているという結果になっているが、職員数の減少により、職員の負担も昨年度より増加する可能性もある。より一層の業務内容の精選を進めたい。

7 本校の教育活動について

(1) 在籍児童生徒の概要 … 本校副校長より説明

(2) 小学部
(3) 中学部
(4) 高等部

各学部主事より説明

8 意見・提言

B 委員

子どもの権利に基づいて児童生徒の評価を指標にしている部分を評価したい。

C 委員

施設において本校の卒業生を受け入れているが、いろいろな経験を積み、年々コミュニケーションが取れるようになってきている。地域と連携を深めていくことでその力を高めていくことが

求められているのではないか。

D 委員

VR を活用しながら学習経験を深める活動なども効果があるのではないか。先生方の働き方を見る限り、休暇がよく取れていると感じた。

E 委員

当館では出前授業、授業連携を行っているが、博学連携は教員のつくった授業の中で資料を見たり、説明したりという形が本来の形である。今後はこのことについても検討をお願いしたい。当館には優秀な学芸員がそろっている。様々な分野で一層の活用をお願いしたい。

F 委員

働き方改革アクションプランについてはしっかりと数値を提示して取り組んでいるという印象をもった。職員の休暇の取り方についても私の職場とは違いがあることを感じる。また、生徒が落ち着いて授業に向かうことのできる環境についてはうらやましく感じる。

G 委員

要望になるが、登校時間が非常に限られた時間に設定されており、これをもう少し長くできないかと思っている。下校時間についてもあらかじめ時間が決められているため、決められた時間に迎えに行けないとデイサービス等の利用も必要になり、保護者も費用が発生することになる。今後、検討して欲しい。

(校長回答：今後再検討したい)

A 委員

以前、高校現場にいた経験があるが、やはり実際に本校の生徒や授業を見ること少人数での対応などがよくなされていることなどについて改めて感じるがあった。

9 承認

令和6年度の学校経営計画については全会一致で承認。

10 閉会